

統計数学分科会 報告

2026 年度 年会

3 月 24 日 (火曜)

第 VIII 会場・東京理科大学

--- 目次 ---

1. 2026 年度 年会(東京理科大学)について
2. 学会賞関係
3. 総会報告
4. 今後の秋季総合分科会・年会
5. 統計数学分科会運営委員

1. 2026年度 年会(東京理科大学)について

講演アブストラクト・講演スライドの公開については、
数学会ホームページをご覧ください。

2. 学会賞関係 (1/3)

- 2026年度 日本数学会春季賞

日下部 佑太 氏 (九州大学大学院数理学研究院)

業績題目：岡多様体の新しい特徴づけと高次元球外部の岡性

授賞式

日時：2026年3月24日(水) 14:30-15:00

会場：東京理科大学 6号館 2階 624 教室

2.学会賞関係 (2/3)

- 2026 年度日本数学会出版賞

- (1) 浦川 肇 氏

- 微分幾何学における幅広く重厚な研究を基盤として、数多くの良書を表し、幾何学を専攻する学部生・大学院生の教育研究に多大に貢献した。

- (2)ヨビノリたくみ 氏, ヨビノリやす 氏

- Youtube チャンネル「予備校のノリで学ぶ「大学の数学・物理」」(略称：ヨビノリ)は、「理系離れを防ぐ」という理念から数学・物理の学部レベルの講義動画を配信している。

2. 学会賞関係 (3/3)

2026JMSJ 論文賞

(1) Curtis T. MCMULLEN

“Galois orbits in the moduli space of all triangles” , Vol.77(2025),31-56

(2) Marius DADARIAT, Ulrich PENNIG

“Bundles of strongly self-absorbing C^* -algebras with Clifford grading” , Vol. 77, (2025), 1103-1135

3. 総会報告

- 理事長候補者が選出されました。

理事長

石毛 和弘氏(東京大学)【再任】

次の理事会で正式に承認の予定です

3. 総会報告

- 国際交流

- (1) 2026年国際数学者会議(ICM2026)への参加

- その他の事業

- (1) 2030年国際数学者会議(ICM2030)の招致

- (3) MathSciNetのコンソーシアムJPNMATHの主催 -- AMSが提供する「MathSciNet」を特別価格で利用できるようコンソーシアム「JPNMATH」を主宰する

3. 総会報告

➤ 不定期刊行物

「Advanced Studies in Pure Mathematics」の刊行方針

⇒ 現在編集の分をもって、当分の間刊行停止（再刊行の可能性は残す）

3. 総会報告

➤ 管理・運営

(1) 会費の改定

2026 年度前期分より正会員および終身会員の会費改定する。学生のほか，経済的に厳しい状況にある若年層，および初等教育教員である正会員に対する会費減免制度を開始する

(2) 会員情報システムの開発

マイページ機能を有する新たな会員情報システムを開発し，会員による利用を開始する → 今年の夏ころに運用を目指す

4. 総会報告

今後の秋季総合分科会・年会

- 2026年度 秋季総合分科会

神戸大学：9月1日（火）～4日（金）

9月5日（土）市民講演会

- 2027年度 年会

静岡大学（浜松）：3月28日（日）～31日（水）

- 2027年度 秋季総合分科会

信州大学：9月（詳細未定）

5. 統計数学分科会運営委員

➤ 評議員（全国区代議員）

上村稔大（関西大学）[連絡責任評議員] 清水泰隆（早稲田大学）

➤ 運営委員

【確率関連分野】

阿部 圭宏（東北大学）

福島 竜輝（筑波大学）

佐々田 槇子（東京大）

星野 壮登（東京科学大学）

日野 正訓（京都大学）

深澤 正彰（大阪大学）

鄭 容武（広島大学）

角田 謙吉（九州大学）

【統計関連分野】

田畑 耕治（東京理科大）

佃 康司（九州大）

橋本 真太郎（広島大）

荻原 哲平（東京大）

元山 斉（青山学院大）

劉 言（早稲田大）